



周堀の
ライン

ルート① 墳丘を登って
みよう
ルート② 墳丘の周りを
歩いてみよう

永明寺
本堂

文化財説明版

イチョウ

薬師堂

文殊堂

墓地



永明寺古墳を歩いてみよう 解説

永明寺の駐車場から文化財説明版を目指して、永明寺本堂と墓地の間を歩いていきます。

ルート① 墳丘を登ってみよう

西側の階段を上がります。古墳の上から下を見たり、薬師堂の周りを歩いてみたりしてみましょう。

ポイント1 古墳の高さを体感しよう！

古墳は土を盛った権力者のお墓です。車やブルドーザー、などがない中で高さ7mの土を盛ってお墓を造るためには、相当な数の労働者が必要になったと思われます。

ポイント2 石室の石材がある？

昭和6年に当時の永明寺の住職が墳丘上にある薬師堂の下を掘り、武器や武具などを発見しました。その時に葬られていた人物の部屋（石室）も壊したとされており、石材（河原石）が薬師堂の下に散乱した状態で残っています。

ルート② 墳丘の周りを歩いてみよう

墳丘の周りの遊歩道を西からまわり北へ行きます。遊歩道は東側がないので折り返して戻ります。

ポイント3 墳丘の形を確認してみよう

永明寺古墳は前方後円墳という、東側を円形（後円部）、西側が四角形（前方部）という鍵型になっています。周囲を歩いてみると形がよくわかります。

ポイント4 周溝を確認してみよう。

墳丘の周りには周堀という幅の広い溝が巡っていると推定されています。現在は埋まっていますが、市教育委員会の調査で周堀の範囲がある程度わかってきました。周堀はお墓を区切る役割だったと考えられます。